持続可能な観光の実現に向けて

持続可能な観光の実現に向けて、我々は**“歩くこと”**そのものを**観光資源**とする**「街道観光」**に着目し、街道を歩きながらそこに眠る**歴史や文化を掘り起こす体験**を、中･長期間**滞在しながら提供**するプログラム**「サスティナブル・トラベル・ＫＡＩＤＯ街道」**として事業化します。

歩いて観光するという究極の**エコロジー性**と、従来の観光資源の消費ではなく、**地域に眠る歴史･文化を掘り起こし**、それを**将来にわたる観光資源として商品・サービス化**していくという**持続可能性**を持った**他に例のない観光計画**であると考えています。

《サスティナブル・トラベル・ＫＡＩＤＯ街道 骨子》

江戸時代の街道は総延長 15,000km のネットワークで日本の津々浦々を結んでいた。
参勤交代や旅の原点と言われる伊勢詣でなどの往来により、街道を通じた人や物、
情報の大交流が興り、わが国独自の文化や伝統、習俗、歴史景観が沿線に育まれた。

街道を通じて**“人や物、情報の大交流”**が興った背景には、それぞれの土地ごとに育まれた固有の**「人」、「物」、「文化」の歴史**があった。

ここではその歴史を遡って、その古層にある**埋もれた文化**を発掘し、断片を集めて編集し、その土地固有の**「物語」**として再生することを、**“新たな観光資源開発”**の手掛かりとする。

文化のソフトを掘り起こし、磨き上げる旅『文化のお遍路』。

サスティナブル・トラベル・ＫＡＩＤＯ街道